

令和4年度主な事業報告

社会福祉法人 絆明会

社会福祉事業

1, 特別養護老人ホーム水彩館

① 平均稼働率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
利用者延人数	2,298	2,414	2,384	2,495	2,378	2,246	2,376	2,313	2,386	2,349	2,132	2,362	2,344
1日平均数	76.6	77.9	79.5	80.5	76.7	74.9	76.6	77.1	77.0	75.8	76.1	76.2	77.1
稼働率	91.2%	92.7%	94.6%	95.8%	91.3%	89.1%	91.2%	91.8%	91.6%	90.2%	90.6%	90.7%	91.7%

② 日常生活状況 (3月末時点)

区分	食事			排泄			入浴			歩行		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
人数	47	22	14	5	41	37	1	46	36	3	2	0
区分	寝返り			車椅子			整容動作			褥瘡	胃ろう	酸素
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助			
人数	40	20	23	16	18	44	10	44	29	0	4	0

③ 計画に関する報告

ベッド数	: 84 床	年間利用可能床数	: 30,660 床
------	--------	----------	------------

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 稼働率 目標 94.5%	・ 未達成 91.7%
・ 平均的要介護度 4.0 を目安とする	・ 達成 4.0
・ 昨年度より入院人数の削減を試みる (-5%)	・ 達成 減少
・ 平均空床期間を昨年度より削減する (-5%)	・ 館内や受け入れ元での集団感染で延期増加
・ 定期的なルート営業先を検討し実施 (月1回)	・ 感染対策中のためFAX等の利用
・ 取手市外エリアの営業先選定及び実施と、新規提携先を開拓 (3か所)	・ 感染対策中のため今後検討実施
・ 魅力度向上計画の検討を開始 (現場との連携が必要)	・ 感染対策強化期間以外にて月2回開催
・ 顧客不足下においても集客を向上させる営業手段の検討 (月2回検討と実施確認会議)	・ 稼働安定会議にて検討を実施

・ 感染症拡大時もしくは、その前段階時での入居受入方針を臨機応変に	・ 集団感染時は一時新規入所中止、受け入元の病院や施設で発生し延期となった
・ 顧客満足度（CS）向上を視野に入れた情報交換と、現場を含む検討会の実施	・ 稼働安定会議（週1）、運営向上会議（月2）継続実施
・ 日常生活継続支援加算の継続を意識する	・ 達成
・ 新たな加算への検討と実施	・ 検討中

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i リーダー職育成研修 ・ リーダー会議等での育成プログラムの継続実施 ・ チーフ以上職者による内部でのリーダー職研修の実施（年2回）	・ 育成プログラムについては継続実施 ・ eラーニングシステムの視聴 ・ リーダー向け外部研修の受講推進
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回） ・ 管理者外部研修の受講（年1回以上）	・ 実施 運営向上会議内での実施 ・ 受講（介護福祉会、老施協主催研修）
(2) 外部研修計画	
※ 実施すべき研修に関わる最新情報収集等、代表者の受講推進受講予定職種とその内容の把握 メディアパスアカデミー（eラーニング）の活用	
i 介護職 ・ 介護技術 ・ ユニットケア ・ 認知症ケア ・ ターミナル対応	・ 実施 個人受講
ii 事務職 ・ コンプライアンス、プライバシー、ハラスメント ・ 事業継続計画（BCP）	・ 実施 個人受講
iii 専門職 ・ 医療知識 ・ 医療職向け研修 ・ リハビリ職向け研修 ・ 権利擁護	・ 実施 個人受講
iv 全共通 ・ 感染症関連 ・ 防災防犯 ・ 権利擁護、身体拘束関連・ICT, AI関連・各種管理者研修・AED使用訓練	・ 実施 個人受講 ・ AEDは未実施
v 専任担当者 ・ カスタマー対応（苦情対応）・ リスクマネジメント関連 ・ 安全運転・介護保険関連	・ 実施 オンライン研修 個人受講

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 浸透しているルーティンの業務内容の見直しと改善	・ 実施 継続
・ 効率の良いシフト作成改革を検討	・ 労務管理のソフト変更を検討、継続
・ 専門業務をより集中させるための業務仕訳とその改善方法を検討	・ 継続実施
・ 効率UPに繋がる「ICT・AI」機器関連の調査	・ 3月介護ソフト（ケアカルテ）の入替実施
・ 労働生産性数5%向上への検討と準備	・ 検討中

・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（－10％）	・ 集団感染での人員調整により削減未達成
-------------------------------------	----------------------

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
(1) 排泄介助関連 i 排泄支援加算算定の準備 排泄に関して個々に施設入所時、あるいは介護保険更新時等の基準日と比べて、状態の改善、オムツの使用ありからなしへの改善率の向上を目指し、日中のオムツ利用者の減少を試みるための基盤作り。	・ 加算算定について検討 ・ 排泄方法の向上については継続実施
(2) 栄養口腔ケア関連 i 栄養マネジメント強化加算算定のための準備 低栄養リスクの高い方への栄養状態、嗜好、変化等のラウンドによる確認の継続 ii 口腔衛生管理加算算定 歯科医師等が技術指導を年に二回以上実施し、口腔内の衛生管理の継続	・ 加算算定のための人員基準未達成 ・ 協力訪問歯科医師のもと継続
(3) 入浴介助関連 i 入浴の介助の方法について施設入所時、あるいは介護保険更新時等の基準日に比べて入浴方法の維持、向上等状態の改善、また変更の必要性についての検討を実施。適切な入浴方法を検討、維持するための基盤作り。維持率と変更率のデータ収集。	・ 継続 ・ 加齢によるADL低下のため維持 継続
(4) 認知症対応関連 i 認知症専門ケア加算算定のための準備 認知症ケアに関しての研修受講、研修内容についての伝達研修認知症ケア学習職員を多職種より選任、グループ内にて対応策や実践について学ぶ	・ 継続 ・ 認知症実践者研修の受講、伝達講習 1名 ・ 認知症ケア専門士の取得 1名
(5) 医療対応関連 i 感染対策強化の継続実施。感染拡大させない、重症者を出さない。BCPの備え、シミュレーション等訓練実施、正しい知識最新情報の収集、周知発生時の初動対応、用品、用具の備え ii 介護に必要な医療知識の向上 iii 褥瘡予防対策 褥瘡マネジメント加算算定のための準備 褥瘡発生リスクの高い方について褥瘡管理の記録や検討を定期的実施褥瘡の発生率の減少	・ 継続実施 ・ 9.12月に多数名の集団感染発生あり ・ その前後に初動等の研修実施 ・ 各自の研修受講 ・ 継続
(6) 看取り対応関連 i 看取り介護加算算定のための準備 本人、家族との十分な話し合いの実施（ACP アドバンス ケア プランニング）退所者内の看取り対応実績の推移看取り後のグリーフケアや、ご家族からのご意見、看取り対応の振り返りを行う	・ 退所者16名 うち看取り5名 ・ 継続

(7) 権利擁護、プライバシーの保護関連	
i ご利用者の尊厳保持・権利擁護を目的とし、正しい知識、対応の周知徹底虐待行為の禁止、プライバシー保護、個人情報保護	・継続実施
ii 身体拘束廃止未実施減算とならない取組、その周知徹底、身体拘束ゼロの推進 身体拘束を未然に防ぐための取り組みを実施 身体拘束適正化委員会の定期開催、研修の実施	・達成 ・実施

⑤ 自立支援・重度化防止計画

項目	達成・成果等
・セラピストによる個別的な機能訓練の実施	・達成 OTにより実施今後も継続
・嚥下体操、全身体操あっとほーむ体操の全体的な実施	・全体的な実施については継続 未達成
・栄養や口腔管理への意識向上	・訪問歯科による指導含め今後の継続
・LIFEへの適切な対応	・達成
・生活リハビリとして、洗濯物たたみ等の役割を訓練として実施、新たな提供内容検討	・継続
・新型コロナウイルス感染対策に則った機能訓練の提供と実施	・集団感染時期には中断したが 継続実施
・昨年度より自立支援スタンプラリー実施人数の増加を目指す（5%）	・館内感染対策強化期間等中断したため減 未達成

⑥ レク娯楽提供計画

項目	達成・成果等
・昨年度行えなかった納涼祭、敬老会、水彩館フェスタのうち、どれかを開催検討	・全中止 ・ユニット内にて個別実施
・季節感を味わえるレクリエーションの提供	・ユニット内にて個別実施
・外食やテイクアウトによる食の楽しみ提供を実施	・外食中止 テイクアウトは個別実施
・新型コロナウイルス感染対策に則ったレクの提供と実施	・ユニット内にて個別実施
・レク提供のアウトソーシング化を検討	・未達成
・DX（デジタルトランスフォーメーション）時代に合わせた次世代レクの調査と検討	・検討中
・クラブ活動実施の工夫と参加促進（感染症対策を講じ、安全に配慮した実施の検討）	
(1) 合唱クラブ	クラブ活動全般については未実施
(2) 書道クラブ	
(3) 映像鑑賞クラブ	
(4) 料理クラブ	ユニットごとの料理レクなどの実施

⑦ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ</li> <li>垂直避難時の昇降訓練の実施（新たに設置した屋上避難階段の活用含む）</li> <li>垂直避難時の利用者、職員配置場所や発電機及び必要物資の設置場所確認</li> <li>水平避難の検討、訓練（避難場所、避難方法など）</li> <li>全職員への通達訓練（一斉メール活用訓練）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に取手市実施の国交省防災総合訓練に参加</li> <li>避難階段の新設に伴い、屋上避難訓練実施</li> <li>実施</li> <li>机上訓練実施</li> <li>実施</li> </ul>
(2) 地震対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設内の火災箇所、破損個所の確認や各浴槽への貯水、電力確保準備の訓練</li> <li>非常食等の必要物資配布の訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> <li>非常食の試食、訓練実施</li> </ul>
(3) 火災対策訓練（年2回） <ul style="list-style-type: none"> <li>消防計画に則り各想定において訓練を実施する</li> <li>通報、消火、避難対応訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> <li>実施</li> </ul>
(4) 感染症対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施</li> <li>ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施BCP作成中</li> <li>実施</li> </ul>
(5) 防犯対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>警備会社連携の避難訓練の実施</li> </ul>

⑧ 感染症対策

項目	達成・成果等
<ul style="list-style-type: none"> <li>引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9.12月に多数名の集団感染発生あり</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団感染発生時連携、報告。嘱託医、保健所等の指示のもと対応</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>最新情報収集をもとに各種感染症に対するマニュアルの確認と必要に応じた更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策委員会や医務室、訪看が行う内部研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者、職員共に予防接種の実施とその把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4回目・5回目（オミクロン対応）インフル希望者への接種の実施</li> </ul>

⑨ ご家族・公的機関等との連携、対応策

項目	達成・成果等
<p>(1) ご家族との連携、対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族説明会等に代わる方法の検討（コロナ感染対策を考慮）</li> <li>・ 毎月の書面による館内報告、HP上での報告</li> <li>・ 日頃からの個別の状況報告の継続</li> <li>・ 面会の実施についての検討（方法、制限期間など、感染拡大に伴う判断）</li> <li>・ 各種計画書等更新の際のご意見、書面、別途アンケートなどを用いて意見を聴取</li> <li>・ 各レク行事や面会時等でコミュニケーションを重ね、情報や意見交換を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月管理者より館内詳細についての通知</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 実施</li> <li>近隣、館内の感染状況に応じ全面休止から対面面会実施まで段階を区切り実施</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 継続</li> </ul>
<p>(2) 公的機関との連携協力（県、市、保険者、保健所など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席</li> <li>・ 公的機関主催の行事等への参加、協力</li> <li>・ 入所判定に関わる協力依頼</li> <li>・ 緊急受入れ依頼時の体制整備（困難、虐待ケース、包括等の公的機関からの依頼等）</li> <li>・ 認定調査等の受託、日程調整、調査、立合いなどの協力</li> <li>・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施、参加</li> <li>・ 参加</li> <li>・ 実施 保険者1名 地域の代表2名</li> <li>・ 依頼受けたが受入れケースはなし</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<p>(3) その他の機関との連携協力（経営協、全国老施協、茨城県老施協など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力</li> <li>・ 情報収集し、活用</li> <li>・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施、状況によりオンライン参加</li> </ul>

2, ショートステイ水彩館

① 平均稼働率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
利用者延人数	416	458	419	376	412	451	414	442	443	447	439	444	430
1日平均数	13.9	14.8	14.0	12.1	13.3	15.0	13.4	14.7	14.3	14.4	15.7	14.3	14.2
稼働率	86.7%	92.3%	87.3%	75.8%	83.1%	94.0%	83.5%	92.1%	89.3%	90.1%	98.0%	89.5%	88.5%

② 日常生活状況 (3月末時点)

区分	食事			排泄			入浴			歩行		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
人数	11	1	3	5	7	3	3	8	4	5	3	7
区分	寝返り			車椅子			整容動作			褥瘡	胃ろう	酸素
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助			
人数	4	4	7	7	0	8	5	7	3	0	0	0

③ 計画に関する報告

ベッド数	16 床	年間利用可能床数	5,840 床
------	------	----------	---------

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 稼働率 目標 86.7%	・ 達成 88.5%
・ 平均的要介護度 2.7 を目安とする	・ 達成 2.8 内訳：男性2.4 女性3.0
・ 平均空床期間を昨年度より削減する (-5%)	・ 稼働率に連動
・ 定期的なルート営業先を検討し実施 (月2回)	・ 未実施 コロナ禍のため自粛
・ 取手市外エリアの営業先選定及び実施と、新規提携先を開拓 (2か所)	・ 未実施 コロナ禍のため自粛
・ 魅力度向上計画の検討を開始 (現場との連携が必要)	・ 感染対策強化期間以外にて 月2回開催
・ 顧客不足下においても集客を向上させる営業手段の検討 (月2回検討と実施確認会議)	・ 稼働安定会議にて検討を実施
・ 感染症拡大時もしくは、その前段階時での入居受入方針を臨機応変に	・ 館内、在宅サービスにおいて集団感染が発生時は新規停止などの措置
・ 顧客満足度 (CS) 向上を視野に入れた情報交換と、現場を含む検討会の実施	・ 運営向上会議、在宅会議の実施
・ 併設居宅からの紹介者数向上の努力を (昨年度平均よりプラスを目指す)	・ 維持 空き状況により向上のための検討継続

・ 新たな加算への検討と実施	・ 検討中
----------------	-------

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i リーダー職育成研修 ・ リーダー会議等での育成プログラムの継続実施 ・ チーフ以上職者による内部でのリーダー職研修の実施（年2回）	・ リーダー会議等にて実施 ・ eラーニングにてリーダー研修の受講 ・ リーダー向け外部研修の受講推進
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回） ・ 管理者外部研修の受講（年1回以上）	・ 実施 運営向上会議内での実施
(2) 外部研修計画	
※ 実施すべき研修に関わる最新情報収集等、代表者の受講推進受講予定職種とその内容の把握 メディパスアカデミー（eラーニング）の活用	
i 介護職 ・ 介護技術・ユニットケア・認知症ケア・在宅ケア	・ 実施 個人受講
ii 事務職 ・ コンプライアンス,プライバシー,ハラスメント ・ 事業継続計画（BCP）	・ 実施 個人受講
iii 専門職 ・ 医療知識 ・ 医療職向け研修 ・ リハビリ職向け研修 ・ 権利擁護	・ 実施 個人受講
iv 全共通 ・ 感染症関連・防災防犯・権利擁護、身体拘束関連 ・ ICT、AI関連・各種管理者研修 ・ AED使用訓練	・ 実施 個人受講 ・ AEDは未実施
v 専任担当者 ・ カスタマー対応（苦情対応）・ リスクマネジメント関連 ・ 安全運転・介護保険関連	・ オンライン研修 ・ 実施 個人受講

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 浸透しているルーティンの業務内容の見直しと改善	・ 実施 継続
・ 効率の良いシフト作成改革を検討	・ 労務管理のソフト変更を検討、継続
・ 専門業務をより集中させるための業務仕訳とその改善方法を検討	・ 継続実施
・ 効率UPに繋がる「ICT・AI」機器関連の調査	・ 3月に介護ソフトの入替実施
・ 労働生産性数5%向上への検討と準備	・ 検討中
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（-10%）	・ 集団感染での人員調整により削減未達成



④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
<p>(1) 排泄介助関連</p> <p>自宅での排泄状況の把握、適切な排泄方法を検討、提案、排泄状況の確認、観察、記録、報告、見直しケアプランに基づくケアの実施、プライバシーの保護、意思の尊重、安全への配慮、自宅で必要な機能維持</p>	<p>・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援継続</p>
<p>(2) 栄養口腔ケア関連</p> <p>自宅での食事、栄養摂取状況の把握、適切な食事、栄養摂取方法を検討、提案栄養バランス、楽しく美味しく安全な食の提供の工夫、配慮、環境整備ケアプランに基づくケアの実施</p>	<p>・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援継続</p>
<p>(3) 入浴介助関連</p> <p>自宅での入浴状況の把握、適切な入浴、清潔保持方法を検討、提案状況や体調変化に応じた対応、ケアプランに基づくケアの実施保清、快適さ、身体観察の機会としてのサービス提供</p>	<p>・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援継続</p>
<p>(4) 認知症対応関連</p> <p>i 自宅でのBPSDなど症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、ケアプランに基づくケアの実施</p> <p>ii 認知症専門ケア加算算定のための準備 認知症ケアに関しての研修受講、研修内容についての伝達研修 認知症ケア学習職員を多職種より選任、グループ内にて対応策や実践について学ぶ</p>	<p>・在宅での状況を把握し、維持向上のための支援継続</p> <p>・算定のための資格の取得継続</p> <p>・認知症実践者研修の受講、伝達講習 1名</p> <p>・認知症ケア専門士の取得 1名</p>
<p>(5) 医療対応関連</p> <p>i 自宅での医療の状況、症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、ケアプランに基づくケアの実施</p> <p>ii 感染対策強化の継続実施。感染拡大させない、重症者を出さない。BCPの備え、シミュレーション等の訓練実施、正しい知識最新情報の収集、周知発生時の初動対応、用品、用具の備え</p> <p>ii 服薬に関する情報共有</p> <p>III 介護に必要な医療知識の向上</p> <p>iv 褥瘡予防、発見した場合の報告、対応</p>	<p>・継続実施</p> <p>・9.12月に多数名の集団感染発生あり</p> <p>・その前後に初動等の研修実施</p> <p>・継続</p> <p>・各自の研修受講</p> <p>・継続</p>
<p>(6) 権利擁護、プライバシーの保護関連</p> <p>i ご利用者の尊厳保持・権利擁護を目的とし、正しい知識、対応の周知徹底虐待行為の禁止、プライバシー保護、個人情報保護</p> <p>ii 身体拘束廃止未実施減算とならない取組、その周知徹底 身体拘束ゼロの推進 身体拘束を未然に防ぐための取り組みを実施 身体拘束適正化委員会の定期開催、研修の実施</p>	<p>・継続実施</p> <p>・達成</p> <p>・実施</p>

⑤ 自立支援・重度化防止計画

項目	達成・成果等
・ 嚥下体操、全身体操あっとほーむ体操の全体的な実施	・ 全体的な実施については継続 未達成
・ 生活リハビリとして、洗濯物たたみ等の役割を訓練として実施、新たな提供内容検討	・ 今までの内容を継続実施
・ 栄養や口腔管理への意識向上	在宅連携し実施
・ LIFEへの適切な対応	実施
・ 新型コロナウイルス感染対策に則った機能訓練の提供と実施	状況を見ながら実施

⑥ レク娯楽提供計画

項目	達成・成果等
・ 昨年度行えなかった納涼祭、敬老会、水彩館フェスタのうち、どれかを開催検討	・ 全中止 ユニットごとに小規模実施
・ 季節感を味わえるレクリエーションの提供	・ 個別レクリエーションの実施
・ 外食やテイクアウトによる食の楽しみ提供を実施	・ 外食は中止、テイクアウト実施
・ 新型コロナウイルス感染対策に則ったレクの提供と実施	・ 密にならない方法の検討実施
・ レク提供のアウトソーシング化を検討	・ 未達成
・ DX時代に合わせた次世代レクの調査と検討	・ 検討中
・ クラブ活動実施の工夫と参加促進（感染症対策を講じ、安全に配慮した実施の検討）	
(1) 合唱クラブ	・ クラブ活動は未実施
(2) 書道クラブ	
(3) 映像鑑賞クラブ	
(4) 料理クラブ	・ ユニットごとの料理レクなど実施

⑦ 看取り時対応計画

※ 現段階では対応不可

⑧ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※ 「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う在宅利用者の場合、事前に天災等が予期出来る際には利用中止等の判断、あるいは安全にご帰宅いただく 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ	・ 5月に取手市実施の国交省防災総合訓練に参加

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 垂直避難時の昇降訓練の実施（新たに設置した屋上避難階段の活用含む）</li> <li>・ 垂直避難時の利用者、職員配置場所や発電機及び必要物資の設置場所確認</li> <li>・ 水平避難の検討、訓練（避難場所、避難方法など）</li> <li>・ 全職員への通達訓練（一斉メール活用訓練）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難階段の新設に伴い、屋上避難訓練実施</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 机上訓練実施</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<p>(2) 地震対策訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設内の火災箇所、破損個所の確認や各浴槽への貯水、電力確保準備の訓練</li> <li>・ 非常食等の必要物資配布の訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施</li> <li>・ 非常食の試食、訓練実施</li> </ul>
<p>(3) 火災対策訓練（年2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施する</li> <li>・ 通報、消火、避難対応訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<p>(4) 感染症対策訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施</li> <li>・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCP作成中</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<p>(5) 防犯対策訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警備会社連携の避難訓練の実施</li> </ul>
<p>(6) 在宅における災害支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握</li> <li>・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性の判断と対策</li> <li>・ 災害時のマニュアル作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアマネ、地域からの情報収集、未実施</li> </ul>
<p>(7) 送迎時の安全運転にかかわる訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全運転研修の受講</li> <li>・ 日常的な安全運転の励行</li> <li>・ トラブル時の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ eラーニングでの受講</li> <li>・ マニュアルの確認、配布</li> </ul>

⑨ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携	・ 9.12月に特養含め集団感染あり
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ 集団発生時に連携、報告。 ・ 保健所の指示のもと対応
・ 在宅でのご本人、同居の家族等の健康観察の記録や利用時の報告のルールの厳守	・ 継続
・ 利用中の体調変化時のルールの厳守	・ 感染状況により有料にて抗原検査の実施
・ 既往等による体調変化についての事前相談とその周知、ルールの厳守	・ 継続
・ 各種感染症に対するマニュアルの確認と必要に応じた更新	・ 継続
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ 実施 特養と同じ
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	特養と同じ
・ ご利用者の予防接種実施の把握（インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン）	長くご利用でご希望の方のみ実施 接種証明書写しの提出依頼

⑩ ご家族・公的機関等との連携、対応策

項目	達成・成果等
<p>(1) ご家族との連携、対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族説明会等にかわる方法の検討（コロナ感染対策を考慮）</li> <li>・ 毎月の書面による館内報告、HP上での報告</li> <li>・ 日頃からの個別の状況報告の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特養と同じ</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面会の実施についての検討（方法、制限期間など、感染拡大に伴う判断）</li> <li>・ 各種計画書等更新の際のご意見、書面、別途アンケートなどを用いて意見を聴取</li> <li>・ 各レク行事や面会時等でコミュニケーションを重ね、情報や意見交換を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣、館内の感染状況に応じ全面休止から対面面会実施まで段階を区切り実施</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<p>(2) 公的機関との連携協力（県、市、保険者、保健所など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席</li> <li>・ 公的機関主催の行事等への参加、協力</li> <li>・ 入所判定に関わる協力依頼</li> <li>・ 緊急受入れ依頼時の体制整備（困難、虐待ケース、包括等の公的機関からの依頼等）</li> <li>・ 認定調査等の受託、日程調整、調査、立ち合いなどの協力</li> <li>・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特養と同じ</li> <li>・ なし</li> <li>・ なし</li> <li>・ なし</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<p>(3) その他の機関との連携、協力（経営協、全国老協、茨城県老協など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力</li> <li>・ 情報収集し、活用</li> <li>・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 状況により オンラインにて参加</li> </ul>

3, デイサービスセンター水彩館

① 平均稼働率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
稼働日数	26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	26
利用者延人数	525	512	497	476	516	493	508	494	354	434	452	497	480
1日平均数	20.2	19.7	19.1	18.3	19.1	19.0	19.5	19.0	14.2	18.1	18.8	18.4	18.6
稼働率	80.8%	78.8%	76.5%	73.2%	76.4%	75.8%	78.2%	76.0%	56.6%	72.3%	75.3%	73.6%	74.5%

② 日常生活状況 (3月末時点)

区分	食事			排泄			入浴			歩行		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	車椅子
人数	45	3	1	23	23	3	8	39	2	21	25	3

③ 計画に関する報告

1日定員数	25名	年間利用可能人数	7,700名(308日)
-------	-----	----------	--------------

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 稼働率 目標 77.4%	・ 未達成 74.5%
・ 平均的要介護度 2.1 を目安とする	・ 達成
・ 定期的なルート営業先を検討し実施 (月2回)	実績配布時達成 月2回の定期営業は未達成
・ 利根町の営業先選定及び実施	・ 未達成
・ 新規提携先を開拓 (3か所)	・ 達成
・ 魅力度向上計画の検討を開始 (現場との連携が必要)	・ 感染対策強化期間以外にて 月2回開催
・ 顧客満足度 (CS) 向上を視野に入れた情報交換と、現場を含む検討会の実施	・ 運営向上会議、在宅会議にて実施
・ 集客を向上させる営業手段の検討 (月2回検討と実施確認会議)	・ 稼働安定会議にて検討を実施 ・ 新たな運動内容等、目黒氏に伺い実施
・ 併設居宅からの紹介者数向上の努力を (昨年度平均より +10%)	・ 継続実施 +10%未達成
・ 報酬改定による新たな加算の検討と実施	・ 検討中

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i リーダー職育成研修 ・ リーダー会議等での育成プログラム継続実施 ・ チーフ以上職者による内部でのリーダー職研修の実施 (年2回)	・ 育成プログラムについては継続実施 ・ eラーニングシステムの視聴 ・ リーダー向け外部研修の受講推進

ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回） ・ 管理者外部研修の受講（年1回以上）	・ 実施 運営向上会議内での実施 ・ 受講（介護福祉会、老協主催研修）
(2) 外部研修計画 ※ 実施すべき研修に関わる最新情報収集等、代表者の受講推進受講予定職種とその内容の把握 メディアパスアカデミー（eラーニング）の活用	
i 介護職 ・ 介護技術 ・ 認知症ケア	・ 実施 個人受講
ii 事務職 ・ コンプライアンス, プライバシー, ハラスメント ・ 事業継続計画（BCP）	・ 実施 個人受講
iii 専門職 ・ 医療知識 ・ 医療職向け研修 ・ リハビリ職向け研修 ・ 権利擁護	・ 実施 個人受講
iv 全共通 ・ 感染症関連・防災防犯・身体拘束関連 ・ ICT ・ AI関連・各種管理者研修 ・ AED使用訓練	・ 実施 個人受講
v 専任担当者 ・ リスクマネジメント関連 ・ 安全運転	・ 実施 個人受講

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 浸透しているルーティンの業務内容の見直しと改善	・ 必要時マニュアルの変更を実施 ・ 日々の業務日程表の見直しを都度実施
・ 効率の良いシフト作成改革を検討	希望休の確認時期の工夫、手順変更
・ 限りある職員による、見守り・レク・機能訓練のバランスよい提供方法を検討	・ マニュアルやシフト、業務内容の検討を実施
・ 効率UPに繋がる「ICT・AI」機器関連の調査	・ 検討中
・ 労働生産性数5%向上への検討と準備	・ 検討中
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（-10%）	・ 継続

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
(1) 排泄介助関連 i 自宅での排泄状況の把握、適切な排泄方法を検討、提案、ケアプランに基づくケアの実施 ii 排泄状況の確認、観察、記録、報告、見直し プライバシーの保護、意思の尊重、安全への配慮、自宅でも必要な機能維持	・ 適切な排泄方法が選択出来るようケアマネ、家族に提案 ・ チェック表で状況を記録。 ・ ケアプランに基づき、機能維持の為に訓練実施
(2) 栄養口腔ケア関連 i 自宅での食事、栄養摂取状況の把握、適切な食事、栄養摂取方法を検討、提案ケアプランに基づくケア	・ 食後のうがいと歯ブラシを促す ・ 加算算定なし

<p>の実施</p> <p>ii 口腔栄養スクリーニング 加算 i 算定のための取組み。6ヶ月ごとに情報提供を実施する</p> <p>iii 栄養バランス、楽しく美味しく安全な食の提供の工夫、配慮、環境整備</p>	
<p>(3) 入浴介助関連</p> <p>i 自宅での入浴状況の把握、適切な入浴、清潔保持方法を検討、提案、ケアプランに基づくケアの実施</p> <p>ii 入浴介助加算 i に加え、II を算定するための取組み要件通りに個別の入浴計画書を作成し、計画書に基づき入浴介助を実施する</p> <p>iii 保清、身体観察の機会としてのサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回利用時前のアセスメント</li> <li>・加算 II の算定については未達成</li> <li>・実施は検討</li> <li>・継続</li> </ul>
<p>(4) 認知症対応関連</p> <p>i 自宅でのBPSDなど症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、ケアプランに基づくケアの実施</p> <p>ii 認知症専門ケア加算算定のための準備 認知症ケアに関しての研修受講、研修内容についての伝達研修 認知症ケア学習職員を多職種より選任、グループ内にて対応策や実践について学ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前面談や連絡帳等で自宅での様子を確認</li> <li>・通所は対象外</li> </ul>
<p>(5) 医療対応関連</p> <p>i 自宅での医療の状況、症状の把握、適切な対応方法を検討、提案、ケアプランに基づくケアの実施</p> <p>ii 感染対策強化の継続実施。感染拡大させない、重症者を出さない。BCPの備え、シミュレーション等の訓練実施、正しい知識最新情報の収集、周知発生時の初動対応、用品、用具の備え</p> <p>iii 服薬に関する情報共有</p> <p>iv 介護に必要な医療知識の向上</p> <p>v 褥瘡予防、発見した場合の報告、対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族やケアマネから情報聞き取り。</li> <li>・併設訪看とも直接情報のやり取りし対応。</li> <li>・コロナ関連の対策継続。</li> <li>・フェイスシートや利用者一覧表で服薬の情報を周知</li> <li>・入浴時観察。ケアマネと家族、併設訪看に連絡</li> </ul>
<p>(6) 権利擁護、プライバシーの保護関連</p> <p>i ご利用者の尊厳保持・権利擁護を目的とし、正しい知識、対応の周知徹底、虐待行為の禁止、プライバシー保護、個人情報保護</p> <p>ii 身体拘束廃止未実施減算とならない取組、その周知徹底 身体拘束ゼロの推進 身体拘束を未然に防ぐための取組みを実施 身体拘束適正化委員会の定期開催、研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者をお呼びする際の敬称統一の徹底</li> <li>・達成</li> <li>・実施</li> </ul>

⑤ 機能訓練提供計画

項目	達成・成果等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリ専門職と連携し、個別機能訓練のモニタリング・アセスメントと改善の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練指導員と状況の確認を随時行う</li> </ul>

・ 自宅でのリハビリ、身体状況の把握、適切な対応方法を検討、提案	・ 計画書をもとに実施
・ ケアプランに基づくケアの実施	・ 在宅生活を前提に必要と思われる運動を実施
・ 嚥下体操、全身体操あっとほーむ体操の毎日の実施	・ 必ず実施
・ 個別入浴に関するモニタリング・アセスメントの実施 (入浴介助加算Ⅱ)	・ なし
・ 栄養や口腔管理への意識向上(口腔栄養スクリーニング 加算Ⅰ)	・ なし
・ LIFEへの適切な対応	・ 科学的介護推進体制加算算定の為実施
・ 生活リハビリも兼ね備えた機能訓練提供への思考	・ 午前中のアクティビティとして、上肢の運動を4つ追加、実施
・ 新型コロナウイルス感染対策に則った機能訓練の提供と実施	・ マスク着用し実施。運動ごとに消毒。

⑥ レク娯楽提供計画

項目	達成・成果等
・ 昨年度行えなかった納涼祭、敬老会、水彩館フェスタのうち、どれかを開催検討	・ 全面中止
・ 季節感を味わえるレクリエーションの提供	・ 制作物や壁面制作、おやつ作りを実施
・ 外食やテイクアウトによる食の楽しみ提供を実施	・ テイクアウトのお弁当を毎月実施
・ 新型コロナウイルス感染対策に則ったレクの提供と実施	・ 実施
・ レク提供のアウトソーシング化を検討	・ 検討中
・ DX時代に合わせた次世代レクの調査と検討	・ 検討中

⑦ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う在宅利用者の場合、事前に天災等が予期出来る際には利用中止等の判断、あるいは安全にご帰宅いただく 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ</li> <li>・ 垂直避難時の昇降訓練の実施（新たに設置した屋上避難階段の活用含む）</li> <li>・ 垂直避難時の利用者、職員配置場所や発電機及び必要物資の設置場所確認</li> <li>・ 全職員への通達訓練</li> </ul>	・ 特養と同じ
(2) 地震対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設内の火災箇所、破損個所の確認や各浴槽への貯水、電力確保準備の訓練</li> <li>・ 非常食等の必要物資配布の訓練</li> </ul>	・ 特養と同じ
(3) 火災対策訓練（年2回） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施する</li> <li>・ 通報、消火、避難対応訓練の実施</li> </ul>	・ 特養と同じ



(4) 感染症対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施</li> <li>・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ BCP作成中</li> <li>・ 実施</li> </ul>
(5) 防犯対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特養と同じ</li> </ul>
(6) 在宅における災害支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握</li> <li>・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性判断と対策</li> <li>・ 災害時のマニュアル作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続</li> </ul>
(7) 送迎時の安全運転にかかわる訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全運転研修の受講・日常的な安全運転の励行</li> <li>・ トラブル時の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ eラーニングでの受講</li> <li>・ マニュアルの確認、配布</li> </ul>

⑧ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携	・ 12月に集団感染発生
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ コロナ発生時は保健所の指示のもと対応
・ 在宅でのご本人、同居の家族等の健康観察の記録や利用時の報告のルールへの厳守	・ 実施 継続
・ 利用中の体調変化時のルールへの厳守	・ 37.5℃以上は利用不可。
・ 既往等による体調変化についての事前相談とその周知、ルールへの厳守	・ 家族、ケアマネからの情報提供時個別に対応
・ 各種感染症に対するマニュアル確認と必要に応じた更新	・ 実施
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ 実施
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	・ 実施
・ ご利用者の予防接種実施の把握（インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン）	・ 聞き取りや、家族ケアマネからの情報で把握

⑨ ご家族・公的機関等との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との連携、対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族説明会等にかかわる方法の検討（コロナ感染対策を考慮）</li> <li>・ 毎月の書面による館内報告、HP上での報告</li> <li>・ 日頃からの個別の状況報告の継続</li> <li>・ 各種計画書等更新の際のご意見、書面、別途アンケートなどを用いて意見を聴取</li> <li>・ 各レク行事や面会時等でコミュニケーションを重ね、情報や意見交換を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特養と同じ</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 連絡帳や電話にて報告</li> <li>・ 3か月ごとに計画書更新。毎月のケアマネへの報告書も作成し営業時配布</li> <li>・ 実施</li> </ul>
(2) 公的機関との連携協力（県、市、保険者、保健所など） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンラインも含め参加</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的機関主催の行事等への参加、協力</li> <li>・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> <li>・ 実施</li> </ul>
<p>(3) その他の機関との連携、協力（経営協、全国老施協、茨城県老施協など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力</li> <li>・ 情報収集し、活用</li> <li>・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特養と同じ</li> </ul>

1. 居宅介護支援事業所水彩館

① 平均顧客数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
要支援（人）	10.0	13.0	12.0	12.5	13.5	13.0	12.0	12.0	12.5	11.0	12.5	13.5	12.3
要介護（人）	102.0	104.0	101.0	100.0	107.0	110.0	112.0	112.0	118.0	115.0	110.0	109.0	108.3
利用者数（人）	107.0	110.5	107.0	106.3	113.8	116.5	118.0	118.0	124.3	120.5	116.3	115.8	114.5

（※要支援者は、0.5名として換算する。）

② 要介護度別状況（名）

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
要介護	1	57.0	58.0	56.0	55.0	62.0	63.0	64.0	65.0	65.0	65.0	64.0	64.0	61.5
	2	21.0	23.0	24.0	23.0	22.0	24.0	25.0	25.0	27.0	28.0	27.0	24.0	24.4
	3	12.0	11.0	9.0	10.0	8.0	8.0	7.0	7.0	7.0	6.0	8.0	8.0	8.4
	4	9.0	7.0	9.0	9.0	11.0	11.0	10.0	10.0	15.0	13.0	9.0	9.0	10.2
	5	3.0	5.0	3.0	3.0	4.0	4.0	6.0	5.0	4.0	3.0	2.0	4.0	3.8
計		102.0	104.0	101.0	100.0	107.0	110.0	112.0	112.0	118.0	115.0	110.0	109.0	108.3

③ 計画に関する報告

年平均顧客数 : 114.5 名

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 目標月顧客数 124.5 名	・ 未達成
・ 計画基準単価は要介護1～2の単価にて算出する	・ 実施
・ 併設事業所との連携を強化し、在宅部全体における収益とサービス力向上に貢献する	・ 同法人のサービス紹介し繋いでいる
・ 下期に向けて特定事業所算定への申請準備	・ 達成（R4.5月～加算算定）
・ 収益安定を図るため、適用件数増加への準備と実施	
・ 報酬改定による新たな加算の検討と実施	・ 特になし
・ 新規利用者の確保	・ 地域包括、病院相談員との連携により対応

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i 職員育成研修 ・ 施設内研修の参加 ・ 主任ケアマネ及び先輩ケアマネによるOJTの実施	・ 参加（目黒PTの研修） ・ 随時実施
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 施設長や法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回）	

(2) 外部研修計画 メディパスアカデミー（eラーニング）の活用 ・全職員認定調査員現任研修の参加 ・介護支援専門員更新研修 ・茨城県介護支援専門員協会研修参加 ・取手市介護支援専門員協会研修参加 ・各自の基礎資格、スキルに応じた研修の参加	・個々で受講し内容共有している ・実施（4名参加） ・対象者なし ・実務者研修実習受け入れ対応（2名） ・年二回参加 ・包括主催の研修に参加
--	---

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ ICTやテレワーク活用による業務を臨機応変に活用する（オンライン担当者会議やモニタリングなど）	・状況に応じ対応している
・業務のムダとムラを判別し改善を検討	
・効率UPに繋がる「ICT・AI」機器関連の調査	・検討中
・研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（-10%）	・毎週の事業所会議は就業時間内に設定

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
・権利擁護に関する支援方法	・市や包括と連携し居宅介護支援対応中
・ハラスメントに関する対応方法	・法人内外での研修に参加

⑤ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う館内の訓練参加とあわせて、在宅ご利用者の対応についても関連機関と検討し備える 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 ・利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・持ち出し物品の選定と実施訓練 ・各利用者への安全確認及び避難連絡 ・全職員への通達訓練（一斉メール活用訓練）	・達成（法人及び市との会議参加により把握）  ・達成（各自確認している）
(2) 地震対策訓練 ・事務所の火災箇所、破損個所の確認や給水タンクへの貯水、物品持ち出しの訓練 ・各利用者への安全確認及び避難連絡 ・全職員への通達訓練	・達成（法人内防災訓練に参加）
(3) 火災対策訓練（年2回） ・消防計画に則り各想定において訓練を実施する ・通報、消火、避難対応訓練の実施	・達成（法人内防災訓練に参加）

(4) 感染症対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施</li> <li>・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施</li> </ul>	・ 法人内での情報共有、居宅での感染症対策の推奨
(5) 防犯対策訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施</li> </ul>	・ 達成（法人内防災訓練に参加）
(6) 在宅における災害支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握</li> <li>・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性の判断と対策</li> <li>・ 災害時のマニュアル作成</li> </ul>	・ 検討中
(7) 安全運転にかかわる訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全運転研修の受講・日常的な安全運転の励行</li> <li>・ トラブル時の対応</li> </ul>	・ 実施

⑥ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携を	・ 随時関係機関との連携により把握
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ 達成
・ 各種感染症に対するマニュアル確認と必要に応じた更新	・ 達成
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ 参加
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	・ 書面での参加
・ ご利用者、職員共に予防接種の実施とその把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）	・ 各担当により把握している

⑦ ご家族・公的機関との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との連携、対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご家族との日頃よりの情報連携、ご要望、苦情等あった場合の対応、報告、記録</li> <li>・ 法人内他事業所と連携し、いつでも必要に応じて利用者等から相談に対応できる</li> <li>・ 質の高い相談支援技術、ケアマネジメントの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務所内で情報共有している。苦情なし。</li> <li>・ 24時間連絡が取れる体制を確保し担当外でも相談にのるようにしている。</li> <li>・ 事業所内でのOJT実施、各種研修の参加</li> </ul>
(2) 公的機関との対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席</li> <li>・ 公的機関主催の行事等への参加、協力</li> <li>・ 保険者、近隣保険者との日常的な連携、情報共有の継続</li> <li>・ 地域包括支援センターと連携し、支援困難な事例にも居宅介護支援を提供できる</li> <li>・ 行政や包括支援センター等の開催する医療、介護にかかる事例検討会、研修の参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修参加</li> <li>・ お互いに相談しやすい関係を保っている</li> <li>・ 依頼時はできるだけ対応している</li> <li>・ 研修参加</li> </ul>

<p>(3) その他の機関との連携、協力(介護支援専門員協会、経営協、全国老施協、茨城県老施協等)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力</li><li>・ 情報収集し、活用</li><li>・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平時より地域の病院、施設、事業所、診療所と連携し相談したり、ケースの受け入れを行っている</li></ul>
--	--

2, 訪問看護ステーション そら

① 平均訪問回数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
目標値	356.0	356.0	356.0	356.0	356.0	356.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	378.0
実績値	332.5	362.5	371.2	360.0	354.5	355.7	355.7	320.0	358.8	323.0	292.6	331.2	343.1
達成率	93.4%	101.8%	104.3%	101.1%	99.6%	99.9%	88.9%	80.0%	89.7%	80.8%	73.2%	82.8%	91.3%

② 計画に関する報告

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 目標月訪問件数 378 回	・ 未達成 343.1 回
・ 計画基準単価は、看護・リハビリにおいて「訪問看護 13・15」単価にて算出する	・ 訪問看護については、13、12あり。隔週訪問の介入あり。リハビリは15で介入
・ 事業所認知度向上を目指し、困難事例や強みを強調しながら、効率的な営業活動を	・ 認知度向上を目指し、営業活動継続 ・ 困難事例、受け入れ対応を継続
・ 居宅からのイメージ改革を検討（地域のために役立つ ・ 依頼が容易であること）	・ 連携方法をスタッフに周知 ・ 顔の見える連携方法を実施(事業所の報告)
・ 近隣医療機関、クリニック等との連携強化	・ 営業活動継続
・ サ高住や住宅型有料への営業活動を	・ していない
・ 新規提携先を開拓（6か所）	・ 移管により新規CM連携あり改たな利用者を依頼して頂く様、業務を遂行
・ 併設居宅からの紹介者数向上の努力を（昨年度平均より+30%）	・ 増加傾向なし （CMと訪看セットで依頼を受ける事あり）
・ 作業療法士の必要性を年度内において検討（精神疾患への対応強化）	・ 検討中
・ 報酬改定による新たな加算の検討と実施	・ サービス提供体制強化加算（II）

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i 職員育成研修 ・ ケースカンファレンス実施 ・ 同行訪問の振り返り実施	・ S-Q U E 訪問看護の導入 ・ ケースカンファレンス実施・スタッフ間で情報共有 ・ 同行訪問の振り返り実施
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 施設長や法人本部による内部での管理者研修の実施（年2回）	・ S-Q U E 訪問看護の導入
(2) 外部研修計画 ・ メディバスアカデミー（eラーニング）の活用 ・ 茨城県看護協会教育計画に沿い各々が積極的に参加し自己研鑽する ・ 日本看護協会教育計画に沿い各々が積極的に参加し自己研鑽する	・ 外部研修等のお知らせを周知し各々が研修参加 ・ S-Q U E 訪問看護の導入

・地域病院主催の研修に各々のが積極的に参加し自己研鑽する	
------------------------------	--

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ ICT活用による業務効率向上を検討する（オンライン担当者会議など）	・ 書面での担当者会議が主流となっていると感じている。コロナ5類となりどう変わるか
・ 業務のムダとムラを判別し改善を検討	・ スタッフと話し合い、その都度議論する
・ テレワークを活用した業務方針を検討（感染症対策と訪問・待遇効率向上）	・ テレワークをする様な事態にはならず
・ 効率UPに繋がる「ICT・AI」機器関連の調査	・ 検討中
・ 研修や会議の時間設定、時間外労働数を昨年度より削減する（-10%）※緊急訪問除く	・ 報告書の時期は時間外労働が発生していたと感じている

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
・ 医療依存度の高い利用者を対象にした地域訪問看護ステーションの研修の参加	・ 管理者会議に出席し情報共有をしている
・ 経験豊富なスタッフから技術を学ぶ	・ スタッフ間で情報共有
・ あらゆる利用者の看護展開ができるよう誰もが訪問できる体制の構築	・ 訪問についてカンファレンスを行い情報共有 不安な際は同行訪問・相性問題は互いに傾聴を図る
・ 困難事例を受け入れ地域医療・多職種の繋がりを構築する	・ 事前情報を十分に確認し介入を検討継続

⑤ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う、館内の訓練参加とあわせて、在宅ご利用者の対応についても関連機関と検討し備える 全職員への非常時の連絡は一斉メールを日頃から活用し有事に備える	
(1) 水害対策訓練 ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・ 持ち出し物品の選定と実施訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練	・ 水彩館での災害訓練の参加 ・ B C P 作成 ・ 管理者ブロック会議での委員会の実施
(2) 地震対策訓練 ・ 事務所の火災箇所、破損個所の確認や給水タンクへの貯水、物品持ち出しの訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練	・ 水彩館での災害訓練の参加 ・ B C P 作成 ・ 管理者ブロック会議での委員会の実施
(3) 火災対策訓練（年2回） ・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施する ・ 通報、消火、避難対応訓練の実施	・ 水彩館での災害訓練の参加 ・ B C P 作成 ・ 管理者ブロック会議での委員会の実施



(4) 感染症対策訓練 ・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 ・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	・ 水彩館での感染症対策訓練の参加 ・ B C P 作成
(5) 防犯対策訓練 ・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	・ 水彩館での防犯訓練の参加
(6) 在宅における災害支援 ・ 平常時より利用者のリスク管理、避難場所の把握 ・ 災害時利用者の安否確認、支援必要性の判断と対策 ・ 災害時のマニュアル作成 ・ 訪問、移動中の災害発生時対応	・ B C P 作成 ・ 管理者ブロック会議での委員会の実施 ・ 利用者・家族と災害について説明 ・ 利用者・家族と災害について訓練実施予定
(7) 安全運転にかかわる訓練 ・ 安全運転研修の受講 ・ 日常的な安全運転の励行 ・ トラブル時の対応	・ 水彩館での安全運転訓練の参加 ・ アルコールチェッカー継続 ・ トラブル時の対応方法周知

⑥ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携を	・ 感染対策、変わらず実施
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	・ 感染対策、変わらず実施
・ 各種感染症に対するマニュアルの確認と必要に応じた更新	・ 感染対策、変わらず実施 ・ 対策の変更点があれば更新する
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ B C P 作成 ・ 訓練実施予定
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	・ 各々が研修参加（必須）
・ ご利用者、職員共に予防接種の実施とその把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）	・ 把握継続

⑦ ご家族・公的機関との連携、対応策

項目	達成・成果等
(1) ご家族との対応 ・ ご家族との日頃よりの情報連携、ご要望、苦情等あった場合の対応、報告、記録 ・ 法人内他事業所と連携し、いつでも必要に応じて利用者等から相談に対応できる	・ 適宜対応 ・ 双方から情報を収集 ・ 決しない場合は法人に相談をする
(2) 公的機関との対応 ・ 医師会、医療機関等との日常的な連携、情報共有の継続 ・ 公的機関主催の各種会議や研修への参加、委員としての出席 ・ 公的機関主催の行事等への参加、協力 ・ 保険者、近隣保険者との日常的な連携、情報共有の継続 ・ 行政や包括支援センター等の開催する医療、介護にかかる事例検討会、研修の参加 ・ 行政や担当部署や包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携	・ 研修や委員会の場が開催予定の際は参加し現状把握などに努める ・ 地域の訪問看護ステーションの一員として周囲の情報を得、業務を遂行

<p>(3) その他の機関との連携、協力（訪問看護協会、経営協、全国老施協、茨城県老施協等）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 各種会議や研修への参加、行事等への参加、協力</li><li>・ 情報収集し、活用</li><li>・ 有事の際の相談、支援の依頼先としての位置付け</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修や委員会の場が開催予定の際は参加し現状把握などに努める</li><li>・ 地域の訪問看護ステーションの一員として周囲の情報を得、業務を遂行</li></ul>
---	--

3, 移送サービス水彩館

① 平均訪問回数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
目標値	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	43.6	43.6	43.6	43.6	43.6	43.6	40.9
実績値	21.0	37.0	44.0	33.0	49.0	46.0	36.0	38.0	52.0	22.0	30.0	41.0	37.4
達成率	54.8%	96.6%	114.9%	86.2%	127.9%	120.1%	82.6%	87.2%	119.3%	50.5%	68.8%	94.1%	91.9%

② 計画に関する報告

① 収益計画

項目	達成・成果等
・ 目標月訪問件数 40.9 件	・ 未達成 37.4 回
・ 計画基準単価は、1 送迎 1,000円にて算出する（往復は 2 回と算定）	
・ 登録委託者の確保	・ 登録利用者数 65名（3/31現在）
・ 送迎種別の多様化を検討	・ 昨年度より受診移送の他、買い物、社会活動参加等での移送も開始し、定期的な利用につながっている。
・ 併設事業所との連携を強化し、在宅部全体における収益とサービス力向上に貢献する	・ 収益への直接的な貢献は今後も継続課題となるが情報

② 育成・外部研修計画

項目	達成・成果等
(1) 育成研修計画	
i 職員育成研修 ・ 安全運転に関する講習など ・ 感染対策に関する研修など	・ 安全運転、緊急時（交通事故等）の対応を他部署運転者等と再確認を実施 ・ オンライン研修にて感染症項目を履修
ii 管理職（チーフ以上及び指名者）育成研修 ・ 施設長や法人本部による内部での管理者研修の実施（年 2 回）	
(2) 外部研修計画	
・ メディパスアカデミー（eラーニング）の活用 ・ 取手市福祉有償運送運営協議会への参加（同協議会主催毎年12月） ・ 取手市移送サービス運営継続検討会への参加（市主催2ヶ月に1回） ・ 移送サービス運転者講習会への参加（6月・12月）	・ 左記各会は全日参加 利用状況や課題点等の報告 他団体の現状や取手市福祉有償運送の問題点等を議論した。 ・ 運転者講習では、講習修了者へ運転ボランティアへの参加を呼びかけた

③ 生産性向上計画

項目	達成・成果等
・ 外部委託者の確保とその方法を検討	・ 本年度1名の外部委託者あり。今後も増員の検討あり
・ 業務のムダとムラを判別し改善を検討	・ 予約受付時の非効率があり、DX等でリアルタイムで予約・確認ができるシステムを検討

・ 効率の良い感染対策の検討と実施	・ 「効率の良さ」の観点では未達成
・ (研修や会議以外) 時間外労働数を昨年度より削減する (-10%)	・ 達成

④ 技術力向上計画

項目	達成・成果等
・ 内部での安全運転研修へ移送運転者も参加	・ 今年度は外部講師による研修が未開催
・ 利用者移送時の急変時への対応策を学ぶ	・ 未達成
・ 利用者の日常動作に異変を感じた場合、キーパーソンやCMへの報連相を行う	・ 達成、継続して報連相を実施

⑤ 防災・防犯訓練計画

項目	達成・成果等
※「自然災害時BCP計画・感染症発生時BCP計画」や、その他防災防犯訓練計画書を元に、火災・風水害・地震の防災訓練・不審者対応の防犯訓練を、夜間・通報対応含め定期的に行う 館内の訓練参加とあわせて、在宅ご利用者の対応についても関連機関と検討し備える	
(1) 水害対策訓練 ・ 利根川、小貝川、北浦川、相野谷川の水位状況の把握の仕方や、その状況に応じた避難準備や指示の方法を学ぶ ・ 持ち出し物品の選定と実施訓練 ・ 各利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練（一斉メールの活用）	・ 悪天候時の運行は中止の旨を事前に説明  ・ 利用者情報等の書類は持ち出しがしやすい様かさばらないものを使用
(2) 地震対策訓練 ・ 事務所の火災箇所、破損個所の確認や給水タンクへの貯水、物品持ち出しの訓練 ・ 角利用者への安全確認及び避難連絡 ・ 全職員への通達訓練	・ 特養と同じ
(3) 火災対策訓練（年2回） ・ 消防計画に則り各想定において訓練を実施する ・ 通報、消火、避難対応訓練の実施	・ 特養と同じ
(4) 感染症対策訓練 ・ 感染症発生時BCP計画等との活用にて訓練を実施 ・ ゾーニングについて、シミュレーション実践及び机上訓練の実施	・ 館内研修受講 ・ 移送独自の感染対策計画について今後作成
(5) 防犯対策訓練 ・ 専門家を招いた防犯対策研修や、契約警備会社との通報訓練の実施	・ 特養と同じ
(6) 移送中の災害発生時対応 ・ 平常時より利用者のリスク管理、避難先等の把握 ・ 災害時利用者の安否確認、支援の必要性判断と対策 ・ 災害時のマニュアル作成	・ 悪天候時の運行は中止の旨を事前に説明 ・ 運行中の災害の対応マニュアルについては今後の課題
(7) 安全運転にかかわる訓練 ・ 安全運転研修の受講 ・ トラブル時の対応	・ 日常的な安全運転の励行 ・ eラーニングでの受講 ・ マニュアルの確認、配布

⑥ 感染症対策

項目	達成・成果等
・ 引続き、新型コロナウイルス対策の強化と情報連携を	・ 利用前の体調確認と運転者の健康チェック実施
・ 主治医、嘱託医、産業医、保健所、協力医療機関、その他公的機関との連携、相談、指示の元対応	
・ 各種感染症に対するマニュアル確認と必要に応じた更新	・ 未達成（有事のフロー構築が課題）
・ 各種感染症に対する予防や対応訓練を実施（年2回）	・ 乗車後の車内消毒実施 訓練は未実施
・ 感染症対策委員会や訪看、医務室が行う内部研修の実施	
・ サービス実施前日の体調確認	
・ 利用者、職員、委託者共に予防接種の実施とその把握（インフルエンザ・新型コロナワクチン）	・ 利用者のワクチン接種状況を把握 ・ 運転者のワクチン接種実施

⑦ ご家族・公的機関と対応策

項目	達成・成果等
<p>(1) ご家族との対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご家族・ご本人とのコミュニケーションで適度な信頼関係を構築する</li> <li>・ ご家族との日頃よりの情報連携、ご要望、苦情等の対応、報告、記録</li> <li>・ 法人内他事業所と連携し、いつでも必要に応じて利用者等から相談できる体制</li> <li>・ 担当CM、MSWへの情報共有、PRを定期的に行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誠実な対応と適切な言葉遣いを心掛けた</li> <li>・ 水彩館広報誌や、広報とりでへの掲載を依頼した</li> </ul>
<p>(2) 有償ボランティアの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケジュール表の管理</li> <li>・ 利用者情報の共有</li> <li>・ 守秘義務の徹底</li> <li>・ 謝金の請求支払い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケジュール、利用者情報等の受け渡しはメールを利用し、円滑な情報共有ができた。</li> <li>・ 謝金支払いは規定サイト通り実施した</li> </ul>
<p>(3) 公的機関との対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公的機関主催の各種会議や研修、協議会、講習会への協力参加、委員として出席</li> <li>・ 公的機関主催の行事等への参加、協力</li> <li>・ 各情報提供依頼への協力</li> <li>・ 感染症や苦情、事故等についての報告、相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移送団体連絡会参加（年3回）</li> <li>・ 取手市福祉有償運送運営協議会参加（年1回）</li> <li>・ 福祉有償運送運転者講習参加（年2回）</li> <li>・ 苦情、事故件数 0件</li> </ul>